

第8回 服薬教室

8

持効性注射剤について知る

◇進め方

1. 挨拶（気分と体調の確認）
2. 宿題の確認
3. 服薬教室の目標とこれまでの学習内容の確認
4. 前回の復習
5. 今日の内容の紹介
6. ビデオ視聴
7. 質疑応答
8. ロールプレイ
9. 質問がないか確かめる
10. 服薬教室の振り返り

◇挨拶・体調確認

＜挨拶をかわし、前回の訪問以降の出来事をたずね、気分と体調の変化を確認します。＞

〇〇さん、こんにちは。

前回の訪問以降、何か困ったことはありませんか？

気分や体調はいかがですか？

◇宿題（チェック表）の確認

＜チェック表を確認し、努力をほめて継続を促します。＞

〇〇さん、服薬症状チェック表は記入しましたか？

毎日きちんと薬をのんで、具合もよいようですね。

上手に記入できています。引き続き記入してくださいね。

◇服薬教室の目標とこれまでの学習内容の確認

<服薬教室の目標確認をして、学習の意欲を高めます。>

<将来の夢（目標）と関連付けることも有効です。>

今日は、この服薬教室の最後の回ですが、目標は何であったか覚えていますか？

服薬教室の目標を達成することは、〇〇さんの目標の達成に役立ちますか？

<次に、これまでの学習内容の理解度を確認します。ビデオは観ずに質問します。時間がない時は、理解が不十分であった回や☆印のみでも結構です。>

今までの総復習をしましょう。第1回から6回の内容を質問しますね。

◇前回の復習

<ワークブックの『第7回服薬教室』を開くように促します>

それでは、前回の復習をしましょう。前回は、薬の副作用への正しい対処法について学びました。前回のビデオを観て、また質問をしますので、注意して観てください。

<タブレットで『第7回服薬教室ビデオ』を視聴します。>

<『第7回服薬教室』の質問を一通りします。時間がない時は☆印だけでもよいです。>

<解答につまったら、タブレットで『第7回服薬教室（回答付き）』を示します。>

何か質問はありませんか？

◇今日の内容の紹介

今日の服薬教室では、『持効性注射剤について知る』について学びますので、ワークブックを開いてください。

<ワークブックの『第8回服薬教室』を開くように促します。>

これまでの服薬教室では内服薬の自己管理について学んできましたが、〇〇さんは『持効性注射剤』という注射薬をご存知ですか？

<持効性注射剤についての知識の程度を把握します。>

今日のビデオは、注射薬による治療について説明しています。

観終わったあとで、ここにあるような質問をしますので、注意して観てください。

分かりにくければ、繰り返し見ることがができますので、大丈夫ですよ。

<ワークブックの『第8回服薬教室』を示します>

◇ビデオ視聴

<タブレットで、『第8回服薬教室ビデオ』を観ます。>

<理解を確かめながら、必要があれば繰り返し観てください。>

◇質疑応答

いかがですか。もう一度ビデオを観ますか？

では、先ほど示した質問をしますが、よろしいですか？

Q1. 持効性注射剤とはどういうものなのでしょうか？

(持効性注射剤は、『長く効果が続く薬』という意味です。通常1回の注射で4週間あるいは2週間効果が続きます。)

Q2. 持効性注射剤はどのように薬を体内に入れるのでしょうか？

(注射で薬を体内に入れます。)

Q3. 持効性注射剤のメリットは何でしょうか？

(毎日薬を飲み続ける煩わしさがなく、飲み忘れる心配がありません。そのため薬の血中濃度が安定して再発を防ぎ効果が期待されます。)

Q4. 持効性注射剤のデメリットは何でしょうか？

(デメリットとして、注射剤のため痛みがあります。また主作用(効果)が長く続く一方で、副作用も長く続く可能性があります。)

痛みに関しては、ビデオにありましたように『“ものすごく痛い”を100とすると、3.5位の痛み』という報告があります。

副作用に関しては、事前に経口薬によって効果や副作用をよく調べておく必要があります。注射剤治療についてもっと知りたければ、ぜひ主治医に相談してみてください。

◇ロールプレイ

<今回の内容について、ロールプレイをします。役割交換をして、スタッフが薬を飲んでいる患者役に、利用者が薬の専門家役になります。>

ではこれからロールプレイをします。

ロールプレイで練習することは、今後〇〇さんが、持効性注射剤について理解を深めるために、とても役立ちます

では、二人でやってみましょう。

<場面設定>

ここを、病院の相談室としましょう。患者さんが『持効性注射剤』について、薬の専門家に聞いている場面です。

<役割設定>

〇〇さんは、『持効性注射剤』について説明する薬の専門家になってください。私は専門家に質問する患者さんの役をします。

<目的把握>

患者役の私が質問しますから、「持効性注射剤とは何か」について説明してくださいね。

<ロールプレイ>

では、始めましょう。

「先生、質問があるんですが、いいですか？ 1回の注射で何週間も効果がある持効性注射剤というのがあると聞いたのですが、どういうものか教えていただけますか。」

(持効性注射剤とは、『長く効果が続く薬』という意味です。通常1回の注射で4週間あるいは2週間効果が続きます。)

<時間があれば、Q2~Q4も行います。>

<手をたたき、一拍おいて>はい、ありがとうございます。

<正のフィードバック>

〇〇さんの説明は、要点をつかんで、はっきり説明できていたので、とてもよくわかりました。

<良かった所を具体的に挙げてほめてください。>

◇質問がないか尋ねる

今日の内容について何か質問はありませんか？

<質問に答え、必要があればビデオを観なおします。>

今日学んだ内容のまとめです。ワークブックと一緒に保管しておいてください。

<ワークブックの『第8回服薬教室(回答付き)』を渡します。>

◇服薬教室の振り返り

今日で服薬教室は終了です。

全体を通じて何か質問はありませんか？

今後、疑問が生じたら、『ワークブックのまとめ』を見なおしてください。

それで解決しなければ、訪問スタッフに質問してください。

一緒にビデオを観ることも可能です。